

京町家等継承ネット 2025年
京町家・空き家なんでも相談会

参加
無料

京町家の所有者及び居住者等を対象に、活用や改修、相続等について、各分野の専門家とともにご相談をお受けします。[不動産・建築・法律相談コーナー]と[個別相談コーナー(要予約)]を設けます。お気軽にご相談ください。

〈日時〉1月17日(金)・18日(土)／4月18日(金)・19日(土)
13:00～16:30

〈会場〉京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム
※ご予約・お問合せはページ下部の問合せ先(京町家等継承ネット事務局 京都市景観・まちづくりセンター)まで
※詳しくは、特設ホームページをご覧ください。
※会場へのアクセスは、ページ下部の地図及び問合せ先をご参照ください。



主催：京町家等継承ネット
公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター
後援：京都市

京都市景観・まちづくりセンターの
賛助会員募集

当財団の活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。会費は、まちづくり活動の支援、京町家の保全、再生に向けた取組、当財団の運営等に活用させていただきます。

〈年会費〉個人1口 5,000円／団体1口 50,000円
〈特典〉ニュースレター「京まち工房」の送付
各種セミナー・イベントのご案内

当財団
ホームページより
お申込みいただけます

https://kyoto-machisen.jp/partner/detail/member1.html

※賛助会費は、当財団への寄附金として税法上の優遇措置が適用され、確定申告により所得税・法人税の控除が受けられます。

洛中洛外図の基礎講座

参加
無料 申込
不要

京都市景観・まちづくりセンターには、「国宝 上杉本 洛中洛外図屏風」の実物大複製パネルが展示されています。桃山期の画家・狩野永徳によって描かれたこの屏風絵は、当時の京都のまちの景観や風俗を生き活きと伝える資料としても知られています。

こちらのパネルは常時展示していますが、より深く知っていただくために、当センターガイドを講師として「洛中洛外図の基礎講座」パネルで見ると上杉本 洛中洛外図」を開催しています。

講座は、パネル前にて開催する「パネルトーク」と、特定のテーマを取り上げて開催する座学の「ギャラリートーク」の2種類。参加は無料です。不定期開催ですが、おおよそ月に1回のペースで開催しています。



「国宝 上杉本 洛中洛外図屏風」の複製パネル

今後の「洛中洛外図の基礎講座」の予定

- パネルトーク 「絵師狩野永徳」 1月19日(土) 10:00～11:00
- ギャラリートーク 「鴨川に架かる橋」 2月 8日(土) 13:00～15:00
- パネルトーク 「内裏と里内裏」 3月15日(土) 10:00～11:00

〈会場〉京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム
※日時、内容は変更になる場合がありますので、ホームページで最新の情報をご確認のうえご参加ください。
URL <https://kyoto-machisen.jp/event/>



メールマガジンのご案内をご希望の方は、当センターホームページ(施設)よりご登録ください。



景観・まちづくり大学

令和6年度 | 冬季

景観・まちづくり大学は、京都の景観・まちづくりについて多様な視点から学び、考え、実践へとつないでいくことのできる人材を育むことを目指しています。

京都らしい美しい景観や、住みよいまちを未来に引き継いでいくために、明日の京都のまちづくりを担う皆さんの活動を応援します。

元気なまちへの第一歩、あなたから始めませんか。



冬季セミナースケジュール〈令和7年〉

京のまちづくり史連続講座〈有料〉

- 1月31日(金) 京都の産業
-職住一体の暮らしと生業-
- 2月28日(金) 京のまちなみと町式目
-町家と消防とまちづくり-

京町家再生セミナー〈有料〉

- 2月6日(木) 京町家カルテ委員長が見た住まいの形
-構えと備えの民家史-
- 3月9日(日) 京町家が支える食文化
-種麴づくりを生業として-



主催：公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター 共催：京都市都市計画局まち再生・創造推進室

問合せ先 | 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

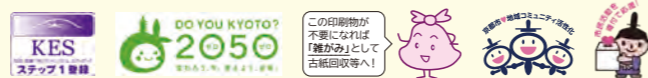
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階
TEL 075-354-8701 FAX 075-354-8704
Eメール machi.info@hitomachi-kyoto.jp

URL <https://kyoto-machisen.jp>

交通機関

- バス 市バス 4、7、205系統「河原町正面」下車
- 電車 京阪電車「清水五条」または「七条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分
- 車 立体駐車場(最初の1時間410円、以後30分ごとに200円)
※できる限り公共交通機関をご利用ください。

(公財)京都市景観・まちづくりセンターは環境負担軽減につとめています。



景観・まちづくり大学

京のまちづくり史連続講座

【受講料】1講座 1,000円(学生500円)

まちづくり活動に関わる方、関心がある方、学んでいる方を対象に、京都のまちづくりに取り組むうえでの基礎を体系的に学ぶ全8回の連続講座です。

京都のまちがどのように成り立ち現在に至ったか、様々な時代背景の中での人々の営みや、その中で育まれたまちづくりの知恵を学び、見識を深めることで、これからの京都の景観・まちづくりに役立てます。

京都の産業 －職住一体の暮らしと生業－

〈講師〉滋野 浩毅氏

(京都産業大学 現代社会学部 教授)

〈日時〉令和7年1月31日(金) 19:00～20:40

〈会場〉京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン (Zoom) にて受講することができます。

対面
講座

【申込受付開始日】令和6年12月13日(金)

【申込受付終了日】令和7年 1月28日(火)

定員50名

申込多数の場合は抽選

京都に古くから根付く、職と住が共存した生活は、まちが形づくられるうえでも非常に重要な要素となってきました。

西陣織や京焼・清水焼などに代表されるものづくりと、その製品を売る商い、また職人たちが生活するうえで必要なモノである、食品や日用品を取り扱う商店街を中心に、戦後京都の「ものづくりのまち」の変遷を探求します。

京のまちなみと町式目 －町家と消防とまちづくり－

〈講師〉丸山 俊明氏

(住環境文化研究所 主宰)

〈日時〉令和7年2月28日(金) 19:00～20:40

〈会場〉京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン (Zoom) にて受講することができます。

対面
講座

【申込受付開始日】令和6年12月13日(金)

【申込受付終了日】令和7年 2月25日(火)

定員50名

申込多数の場合は抽選

平安京に始まる京都のまちなみは、時代とともに変化を遂げながら、様々な営みや文化を育む場所となってきました。そのまちなみの変化は、どのようなものであったのでしょうか。

今回は、豊臣と徳川両政権の建築行政や建築規制の影響、そして防火政策との関係を、京都の町人が大切にしてきた町式目等から読み解いていきます。その中で、これまで語られることがなかった初期消火の手順や破壊消防の方法、われわれが京都らしいと感じるまちなみが大火を機に生まれてきたことなど、京都のまちなみの実相に迫ります。

申込方法

開催会場で受講される方 下記へお申し込みください。

講師の先生が開催会場にお越しになります。

〈申込先〉京都市景観・まちづくりセンター

〈電話〉075-354-8701 〈FAX〉075-354-8704 ※電話・FAXのおかけ間違いにご注意ください。

〈Eメール〉machi.info@hitomachi-kyoto.jp

〈受付時間〉月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:00

〈休館日〉毎月第3火曜日(祝日にあたる場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月4日)

※申込の際、セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレスをお知らせください。

※申込多数により抽選の結果、参加不可の際に当センターからご連絡いたします。

※受講料は当日会場でお支払いください。

※申込後のキャンセルは、参加方法によって手続きが異なります。詳細は当センターまでお問い合わせください。

申込受付期限後でも、定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、当センターまでお問い合わせください。

CPD: 景観・まちづくり大学は、建築士会 CPD 制度認定プログラムです。建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。

京町家再生セミナー

京町家の所有者や居住者、具体的に京町家の居住や活用を検討している方向けのセミナーです。

年間を通して、京町家の歴史や文化、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ京町家の保全・再生に関するさまざまな専門知識をわかりやすく学びます。

京町家カルテ委員長が見た住まいの形 －構えと備えの民家史－

対面
講座

【申込受付開始日】令和6年12月13日(金)

【申込受付終了日】令和7年 2月 3日(月)

定員50名

申込多数の場合は抽選

〈講師〉大場 修氏

(立命館大学 衣笠総合研究機構 教授、京町家カルテ委員長)

〈日時〉令和7年2月6日(木) 18:30～20:30

〈受講料〉500円

〈会場〉京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン (Zoom) にて受講することができます。

昨年「町家構え」を取り上げた「京町家カルテ委員長が見た」シリーズ。今回は新たに「備え」の視点を加え、京町家を含む民家建築全般について再考します。

従来「〇〇造」や「〇〇型」と呼ばれてきた民家建築を、「構え」と「備え」の視点で捉え直すことで、当時の人々が民家に求めた「住まいの形を決めたモノ」に迫ります。建物からではなく、民家の中に生きた人々の思いから発想する民家史を提案し、京町家を含む庶民の家が形づくられた背景と要素を考察します。

京町家が支える食文化 －種麴づくりを生業として－

〈講師〉助野 彰彦氏

(株式会社菱六 代表取締役社長)

〈日時〉令和7年3月9日(日) 14:00～15:30

〈受講料〉現地受講:1,000円
オンライン:500円

※現地受講の受講料は当日現金にて申し受けます。

〈会場〉菱六もやし
(京都市東山区松原通大和大路東入二丁目轆轤町79)

※会場での参加が難しい方はオンライン (Zoom) にて受講することができます。

対面
講座

【申込受付開始日】令和6年12月13日(金)

【申込受付終了日】令和7年3月2日(日)

現地受講
オンライン 令和7年3月6日(木)

現地受講

定員20名

申込多数の場合は抽選

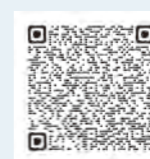


健康に良い食材として注目を集める「発酵食品」。和食には、酒、味噌、醤油など、様々な発酵食品が用いられており、豊かな食文化を支えています。発酵食品をつくるために必要な麴のもととなる「種麴」を、京都東山の地で300年以上にわたって作り続ける「菱六もやし」。東山の歴史を色濃く表す京町家の表構えの奥には麴室があり、今も脈々と種麴が製造・保管されています。

「菱六もやし」こと株式会社 菱六の助野彰彦さんに、京町家で営まれてきた種麴製造の歴史や、発酵文化についてのお話を伺います。

オンライン (Zoom) 受講される方 下記の手順でお申し込みください。定員100名(申込多数の場合は抽選)

1 右記の2次元コードを読み取り、「PassMarket」内の景観・まちづくり大学の講座一覧ページにアクセス



※「PassMarket」トップページから、京都市景観・まちづくりセンター 検索 で検索していただいてもアクセスできます。

2 参加したい講座をクリックし、内容を確認

3 「チケットを申し込む」をクリック



チケット申込ボタン(イメージ)

4 案内に従って必要事項を記入し、申し込む

※受講料は、お申し込みの際に選択された方法にてお支払いください。

※京町家再生セミナー「京町家が支える食文化」の現地受講の受講料は当日現金で申し受けます。

5 当日までに、お申し込みの際に記入されたメールアドレスに「招待メール」が届きます。講座開始の直前に、招待メールに記載されているURLにアクセスしてください。

※オンライン (Zoom) 受講される方は、利用環境をご自身でご用意ください。